



緊急時に備える

学校長 村越 新

5月17日(土)は、多くの方に授業を参観いただき、校長の話も聴いていただき、大変ありがとうございました。

雨天のため引き渡し訓練は中止としましたが、**避難訓練**を行いました。次の3つの行動です。

- ・地震が発生したことを放送で聴く
- ・先生の指示に従い、防災頭巾を被って机の下にもぐる
- ・避難のため、教室(廊下)に黙って並ぶ

一年生も、たいへん真剣に取り組んでいました。ここまでの初期行動をすばやく静かに行えることが、最も重要なことだと考えます。

今回の引き渡し訓練は事前に「雨天中止」を決めていましたが、立川市の小学校で起きた不審者侵入の事件を受けて、引き渡しマニュアル(訓練を含む)の見直しを進めているところです。今回は、天気によって左右されることなく、確実にお子さんをお渡しできるような訓練を実施したいと考えています。

立川市での事件後には、以下のような対応の確認を、翌日に行いました。

- ・校内での名札着用の徹底
- ・名札をつけていない者への声かけ
- ・不審者の存在を知った時の連絡体制(職員室へ、警察へ、全教職員へ)
- ・全教職員に「不審者侵入」を知らせる合図

***職員室に不審者が現れた場合の避難を、学級ごとに実施**

有事の連絡は、今のところ LEVER が最も頼りになりますので、緊急時には LEVER にて対応をお知らせいたします。



危険なSNS

SNSなどを通じた知らない人とのやりとりの有無 東京都の調査結果から



東京都がスマートフォンを持つ小中高生の保護者2千人に行った調査で、小学生の2割以上が、SNSで知らない人とやりとりをしているという結果が出ました。

調査結果によると、知らない人とのスマ

ホを使ったやりとりを「したことがある」の回答は20.4%でした。

小学4~6年生では23.6%、小学1~3年生も22.2%でした。

SNSやオンラインゲームなど子供が事件に巻き込まれるケースは急増しています。「フィルタリングサービス」を使ったり、家庭で明確なルールをつくったり、親の監視を徹底したりするなど、事件から子供を守ってあげてください。

参考 子供たちの会話によく出てくる「フォートナイト」などの対象年齢は**15歳以上**になっています。

対戦ゲームなど、オンラインでのゲームでのトラブルは年々深刻になっていることから、対象年齢の確認は確実に行うようにお願いします。

本校であった事例

- *ゲームに夢中になったことが原因で体調不良となり欠席数が急増
- *対戦ゲームに参加したことから、人間関係が悪くなりトラブルに発展
- *課金が続く、保護者に届く大金の請求
- *対戦相手(知らない大人)からの脅迫など

これらのトラブルは、学校で解決することが非常に困難です。



年齢区分の対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象であることを表示しています。



12才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。



15才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。



17才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。



18才以上のみを対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
(18才未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)